

令和6年11月定例記者会見要旨(令和6年11月25日)

1. 王越線のバス減便に伴い、市が「デマンドタクシー」の運行を開始して1カ月が経過したが、利用状況などについてお聞きしたい。

ご質問のデマンドタクシー（東北エリア）につきましては、バス乗務員不足に伴う路線バス王越線の減便や一部区間廃止に伴い、10月から運行を開始したもので、最初の1カ月間の利用者数は154人でした。

主な利用としましては、ハローズ坂出林田店において路線バス林田循環線に乗り換えて中心部へ向かうかたや、王越地区の児童・生徒の下校時の利用が多いと聞いております。

また、従来の路線バス沿線から離れた集落等において新設されたデマンドタクシー専用の乗降場所についても、1カ月間で40件の利用があり、路線バスの減便でご不便をおかけするなかでも、地域にとって利便性が向上した部分もあると考えております。

しかしながら、昨年10月の王越線全体の利用者数と、再編後の本年10月の路線バス・デマンドタクシーの合計の利用者数を比較しますと、約30%減少となっており、これは、路線バスの減便による利用機会の減少のみを原因とするものではなく、新しく運行したデマンドタクシーが、まだ地域に浸透していないという理由もあると思われま

す。運行地域におきましては、地元自治会の総会での説明や、自治会を通じて利用案内チラシの全戸配布を行うなど周知を図ってきたところではありますが、地域で新しく運行するデマンドタクシーを初めて利用することに対して戸惑いを持つかたもいらっしゃるかもしれません。一方、担当窓口にお問い合わせいただいたかたからは、説明を受けて、「便利なものができた」と感想をいただくこともあり、認知度向上に向けた取り組みを行い、デマンドタクシーの利便性を多くの地域住民のかたがたにご理解いただくことが必要であると考えております。

引き続き、交通事業者や地域の住民団体、乗換拠点となるハローズ坂出林田店とも協力しながら、普及推進・利用促進に努めてまいりたいと考えております。